

本科 1 期 7 月度

解答

Z 会東大進学教室

中 3 英語

中 3 東大英語



## 11 章 関係副詞

---

### 要点

#### ■ 確認問題 1

- (1) 私は今滞在しているホテルに満足している。
- (2) 私は両親と乗馬に出かけた日を覚えている。

#### ■ 確認問題 2

- (1) 雪がたくさん見られるところに私を連れて行ってください。
- (2) 今こそあなたが仕事に取りかかる時だ。

#### ■ 確認問題 3

- (1) ① I know the reason why she didn't come.  
② I know the reason she didn't come.  
③ I know why she didn't come.
- (2) ① Please tell me how you solved the problem.  
② Please tell me the way you solved the problem.

## 問題

### 【1】

#### 解答

- (1) which                      (2) when                      (3) which  
(4) why                        (5) which                      (6) ×  
(7) which

#### 解説

- (1) Disneyland is the place. + I want to visit it [the place] .  
(2) The time is 11:30. + The train will arrive at Ueno then [at the time] .  
(3) The time never returns. + You are wasting it [the time] .  
(4) The reason was not known. + He was late for the reason.  
(5) The reason was a lie. + He told me the reason [He told it to me] .  
(6) I don't like the way. + He talks in that way.  
(7) I can't remember the way. + The teacher showed it to us [The teacher showed us the way].
- \* (1) the place が先行詞である。代名詞 it [= the place] を関係代名詞 which にすることになる。  
(2) (3) とともに the time が先行詞であるが、(2) では副詞 then を関係副詞 when にするか、あるいは副詞句 at the time を「前置詞＋関係代名詞目的格」の形で at which にするかであるのに対し、(3) では代名詞 it [= the time] を関係代名詞 which にすることになる。waste 「～を浪費する」は他動詞である。  
(4) (5) とともに the reason が先行詞であるが、(4) では副詞句 for the reason を関係副詞 why にするか、「前置詞＋関係代名詞目的格」で for which にするかであるのに対し、(5) では代名詞 it [= the reason] を関係代名詞 which にすることになる。tell O<sub>1</sub> O<sub>2</sub> [tell O<sub>2</sub> to O<sub>1</sub>] 「O<sub>1</sub> に O<sub>2</sub> を伝える〔語る〕」は言うまでもなく他動詞である (O<sub>2</sub> が代名詞のときは tell O<sub>2</sub> to O<sub>1</sub> となる)。  
(6) (7) とともに the way が先行詞であるが、(6) では副詞句 in that way を関係副詞 how にするか、「前置詞＋関係代名詞目的格」で in which にするかである。ただし、the way how ～という形で使われることはほとんどないので、the way の直後の空所が1つしかない本問では×としなければならない。それに対して、(7) では代名詞 it [= the way] を関係代名詞 which にすることになる。show O<sub>1</sub> O<sub>2</sub> ; show O<sub>2</sub> to O<sub>1</sub> 「O<sub>1</sub> に O<sub>2</sub> を見せる」は他動詞である。O<sub>2</sub> が代名詞のときは show O<sub>2</sub> to O<sub>1</sub> となる。

### 【2】

#### 解答・解説

- (1) ① This is the house where my mother was born.  
② This is the house in which my mother was born.  
①第1文の the house を先行詞とし、第2文の副詞 there を関係副詞 where にする。

- ②第1文の the house を先行詞とし、第2文の副詞句 in the house を「前置詞＋関係代名詞目的格」で in which にする。
- (2) ① The hotel where they are staying is near here.  
 ② The hotel at which they are staying is near here.  
 ①第1文の The hotel を先行詞とし、第2文の副詞 there を関係副詞 where にする。  
 ②第1文の The hotel を先行詞とし、第2文の副詞句 at the hotel を「前置詞＋関係代名詞目的格」で at which にする。
- (3) ① Do you know the time when he will come?  
 ② Do you know the time at which he will come?  
 ①第1文の the time を先行詞とし、第2文の副詞 then を関係副詞 when にする。  
 ②第1文の the time を先行詞とし、第2文の副詞句 at that time を「前置詞＋関係代名詞目的格」で at which にする。
- (4) ① The year when he was born is 1969.  
 ② The year in which he was born is 1969.  
 ①第1文の The year を先行詞とし、第2文の副詞 then を関係副詞 when にする。  
 ②第1文の The year を先行詞とし、第2文の副詞句 in the year を「前置詞＋関係代名詞目的格」で in which にする。
- (5) ① He asked me the reason why I didn't call him.  
 ② He asked me the reason for which I didn't call him.  
 ①第1文の the reason を先行詞とし、第2文の副詞句 for the reason を関係副詞 why にする。  
 ②第1文の the reason を先行詞とし、第2文の副詞句 for the reason を「前置詞＋関係代名詞目的格」で for which にする。
- (6) ① The reason why he is absent from school is not clear.  
 ② The reason for which he is absent from school is not clear.  
 ①第1文の The reason を先行詞とし、第2文の副詞句 for the reason を関係副詞 why にする。  
 ②第1文の The reason を先行詞とし、第2文の副詞句 for the reason を「前置詞＋関係代名詞目的格」で for which にする。
- (7) ① This is the way I opened the can.  
 ② This is the way in which I opened the can.  
 ①第1文の the way を先行詞とし、第2文の副詞句 in this way を関係副詞 how にする方法が考えられるが、現代英語で実際に the way how ～とすることはしない。実際には the way か how のどちらか一方のみを用いるので注意。  
 ②第1文の the way を先行詞とし、第2文の副詞句 in this way を「前置詞＋関係代名詞目的格」で in which にする。

### 【3】

#### 解答

- (1) ここは彼が子供の頃に住んでいた町にちがいない。
- (2) 食糧不足が深刻な問題となっている多くのアジアの地域がある。
- (3) 月曜日はすることがたくさんある日だ。
- (4) ジュディとクリスが結婚した日以来、私は彼らに会っていない。
- (5) あなたがこれほど度々学校に遅刻する理由を説明してもらえますか。
- (6) 私にはあなたが私を責める理由がわからない。
- (7) それが私がスペイン語を習った理由だ。

**別解** そういうわけで私はスペイン語を習った。

#### 解説

- (1) the town が先行詞で、where he used to live in his childhood がそれを修飾する関係副詞節である。used to …「かつて…だった」は「過去の状態」を表す。
- (2) many parts (of Asia) が先行詞で、where food shortage is a serious problem がそれを修飾する関係副詞節である。shortage「不足」
- (3) 先行詞が省略されている。先行詞として想定されるのは the day で、when I have a lot of work to do がそれを修飾する関係副詞節である。
- (4) ここでは関係副詞 when が省略されていることに注意しよう。先行詞は the day で、(when) they got married がそれを修飾する関係副詞節である。
- (5) (ここでは省略されているが) 先行詞として the reason が想定され、why you are late for school so often がそれを修飾する関係副詞節である。
- (6) 関係副詞 why が省略されていることに注意。先行詞は the reason で、(why) you blame me がそれを修飾する関係副詞節である。
- (7) (ここでは省略されているが) 先行詞として the reason が想定され、why I learned Spanish がそれを修飾する関係副詞節である。

### 【4】

#### 解答

- (1) The boy wants to know the reason why he can't meet his parents.
- (2) This is the factory where Ken's father works.
- (3) I wonder how Sarah read these books in only three days.
- (4) We sometimes talk about the days when we were in England.
- (5) My brother doesn't like going to restaurants where he has to wear a tie.
- (6) The city where she was born is the capital of this country.
- (7) I remember the day when I reached the top of Mt. Fuji.

#### 解説

- (1) 「その少年はなぜ両親に会えないのかを知りたがっている。」→「その少年は自分が両親に会えない理由を知りたがっている。」
- (2) 「ここは【ケンの父親が働く】工場だ。」という構造にすればよい。

- (3) 「どうやって～なのか」 I wonder how ～。「サラがどうやってこれらの本をたった3日で読んだのか」は「サラがこれらの本をたった3日で読んだ方法」と解せるが、他動詞 wonder は名詞や代名詞を目的語とすることはないので、*the way Sarah read these books in only three days* という言い方はこの場合避けるべきである。
- (4) 「私たちはイギリスにいた日々のことについて時々話す。」
- (5) 「私の兄はネクタイを着用しなければならないレストランに行くのが好きではない。」  
「～を着用している」 wear
- (6) 「彼女が生まれた都市は、この国の首都だ。」
- (7) 「富士山の山頂に到達した日を私は覚えている。」「～に到達する」 reach ～のほか、get to ～ や arrive at ～も可。

## 【5】

### 解答

10年間たずさわってきて、私はやっと研究が面白いとわかった。私は走るのは好きでないたちの人間だが、もしゆっくり歩いてよいのなら、不平を言わずにどんな距離でも歩く。そういうわけで、古典文学の研究は私に適していたのだと思う。

### 解説

- ℓ.1 ◇ I am the kind of person who doesn't like to run,  
○ who は関係代名詞の主格で先行詞は person。
- ℓ.2 ◇ but I'll walk any distance without complaining if I'm allowed to go slowly.  
○ distance 「距離」  
○ without …ing 「…せずに」 動名詞の重要表現。
- ℓ.3 ◇ That's why I think the study of classical literature suited me.  
○ That's why ～ 「そういうわけ〔それ〕で～」 why は関係副詞。  
○ classical literature 「古典文学」

## 【6】

### 解答・解説

- (1) August is the month when the weather is the hottest.
- (2) This is why he began to learn Russian.  
「こういうわけで彼はロシア語を習い始めた。」→「これが彼がロシア語を習い始めた理由だ。」と読み替える。先行詞 the reason が省略されている。
- (3) The house where she lives has a rose garden.
- (4) This book is about how you study in America.  
「この本はアメリカ留学についてのものだ。」→「この本はあなたがアメリカで勉強する方法についてのものだ。」
- (5) This is where I absolutely disagree with you.  
「この点で、私はまったくあなたと意見が違います。」→「これは、私が絶対にあなたと

意見の一致しない所〔点〕です。」先行詞 the place あるいは the point が省略されている。  
absolutely 「絶対に」、disagree with ～ 「～と意見が合わない」 cf. agree with ～ 「～と意見が合う」

(6) What I can't make out is why you have changed (your mind).

「私にわからないのは、あなたが決心を変えた理由だ。」先行詞 the reason が省略されている。  
make out ～ 「～を理解する」「私にわからないのは…」→「私にわからないことは…」  
先行詞を内に含む関係代名詞 what を用いる表現。What I can't make out = The thing that I can't make out

## リスニング演習

### 解答

No.1 A No.2 B No.3 A

### Script

### CD 11

#### No.1

shopboy : Can I help you?

Yuna : I want some flowers for my mother. Today is her birthday.

shopboy : What color does she like?

Yuna : She likes orange.

shopboy : These roses would be nice for your mother.

Yuna : I'll take them.

Question : What is the birthday present?

#### No.2

Ken : Cindy, look out the window, it's snowing !

Cindy : Good. I'm going to go skiing this weekend.

Ken : Can you ski?

Cindy : Yes. I like skiing very much. Do you like skiing, Ken?

Ken : No, I don't. I'm from Kagoshima, so I don't enjoy winter sports.

Question : Does Ken like skiing?

#### No.3

Amy : Do you speak Korean, Naoki?

Naoki : No, I don't. But my father speaks a little. How about you, Amy?

Amy : I speak English only. I don't speak any foreign languages.

Question : Who speaks Korean?

### 全訳

#### No.1

店員 : いらっしゃいませ。

ユウナ : 母にお花を買いたいんです。今日が誕生日なの。

店員 : お母さんは何色が好きですか。

ユウナ : オレンジが好きです。  
店員 : このバラがよいと思いますよ。  
ユウナ : それをいただきます。  
質問 : 誕生日プレゼントは何ですか。

## No.2

ケン : シンディ, 窓の外を見て, 雪が降ってるよ!  
シンディ: よかったわ。今週末スキーに行くの。  
ケン : スキーができるの。  
シンディ: ええ。スキーはとても好きよ。ケン, あなたはスキーが好き。  
ケン : いや。ぼくは鹿児島出身なんだ。だからウィンタースポーツはあまり。  
質問 : ケンはスキーが好きですか。

## No.3

エイミー: ナオキ, あなたは韓国語を話すの。  
ナオキ : いや。でも父さんは少し話すよ。エイミー, きみは。  
エイミー: わたしは英語だけよ。外国語はいっさいしゃべらないわ。  
質問 : だれが韓国語を話しますか。

**解説** =====

**No.1** 「いらっしゃいませ。」と店員に言われて, 「母にお花を買いたいんです。」と答えている。

またバラを店員がすすめていることからプレゼントは花である。

**No.2** 「スキーが好きですか?」という質問に対してケンはNoと答えている。

**No.3** 「だれが」というポイントを押さえて聞く。韓国語を話すか聞かれたナオキは「いや, 話さないよ。でも, 父さんは少し話すんだ。」と答えている。エイミーは「英語のみを話す」と言っている。



## 添削課題

### 【1】

#### 解答

- (1) (April is the month) when [in which] a new school year begins in Japan.
- (2) (That is) the reason Yuri wants a new piano.

**別解** (That is) why Yuri wants a new piano.

- (3) (The store) where [at which] I found the book (is on King's Street).
- (4) (Nobody knows) the way he reached [got to ; arrived at] the cave.

**別解** (Nobody knows) how he reached [got to ; arrived at] the cave.

#### 解説

- (1) April is the month. + A new school year begins in Japan then [in the month].
- (2) That is the reason. + Yuri wants a new piano for the reason.
- (3) The store is on the King's Street. + I found the book there [at the store].
- (4) 「彼がその洞窟にどうやってたどり着いたのか誰も知らない。」→「誰も彼がその洞窟にたどり着いた方法を知らない。」Nobody knows the way. + He reached [got to ; arrived at] the cave in that way.

### 【2】

#### 解答

- (1) I know the place where she goes every morning.
- (2) Sunday is the day when we don't have to go to school.
- (3) The building where my father works is just around the corner.

#### 解説

- (1) 第1文の the place を先行詞とし、第2文の副詞 there を関係副詞 where にする。
- (2) 第1文の the day を先行詞とし、第2文の副詞 then を関係副詞 when にする。
- (3) 第1文の The building を先行詞とし、第2文の副詞 there を関係副詞 where にする。

### 【3】

#### 解答・解説

- (1) We didn't know the reason why the concert was postponed [put off].  
「私たちはコンサートが延期された理由を知らなかった。」「～を延期する」postpone か put off で表せる。
- (2) This is how Jim opened the safe. [This is the way Jim opened the safe.]  
「このようにしてジムはその金庫を開けた。」→「これが、ジムがその金庫を開けた方法である。」

#### 【4】

##### 解答

- (1) 私たちが月旅行を楽しめる時がじきに来るだろう。
- (2) このようにして私はあの家を見つけた。
- (3) 私は彼がコンサートのチケットを手に入れた方法を知りたい。

##### 解説

- (1) The time が先行詞で, when we can enjoy traveling to the moon がそれを修飾する関係副詞節。The time when we can enjoy traveling to the moon will soon come. としてもよい。ただ, これだと主部が述部に比べて長大になり, バランスが悪いので The time will soon come when we can enjoy traveling to the moon. のように関係詞節を切り離して文末に置くことがある。
- (2) (3) the way how ～とはせずに普通は the way か how のどちらか一方のみを用いる。

## 12 章 関係詞発展

---

### 要点

#### ■ 確認問題 1

##### 解答

- (1) 私は劇場である男性の隣に座ったが、彼は古い友人〔旧友〕だとわかった。
- (2) 彼は私にその問題について説明したが、私は混乱しただけだった。
- (3) そのサッカーチームは 30 人のメンバーがいるが、そのうち 8 名はヨーロッパ出身である。
- (4) ジョンとアンはロンドンに引っ越し、そこで結婚した。

#### ■ 確認問題 2

##### 解答

- (1) 彼は、その賞にノミネート〔推薦〕されるだろうと言われている歌手だ。
- (2) 役に立つだろうと私思う情報がある。

#### ■ 確認問題 3

##### 解答

- (1) これは私が知っている中でシルクハットを売っている唯一の店だ。
- (2) あなたが知っている中で音楽業界で働いている人はいますか。

## 問題

### 【1】

#### 解答

- (1) (Jun is the boy) who we believe will be famous in the future.
- (2) (The camera) which I thought was mine (was in fact Mayumi's) .
- (3) This is the book which they say will be a best seller.
- (4) The lady who I heard was hard to please talked to me with a smile.

#### 解説

- (1) 第1文の the boy と、第2文の he が共通の要素。the boy を先行詞とし、he は「人」で「主格」なので関係代名詞 who となる。

Jun is the boy. We believe he will be famous in the future.

→ Jun is the boy who we believe will be famous in the future.

- (2) 第1文の The camera と、第2文の it が共通の要素。The camera を先行詞とし、it は「人以外」で「主格」なので関係代名詞 which となる。

The camera was in fact Mayumi's. I thought it was mine.

→ The camera which I thought was mine was in fact Mayumi's.

- (3) 第1文の the book と、第2文の it が共通の要素。the book を先行詞とし、it は「人以外」で「主格」なので関係代名詞 which となる。

This is the book. They say it will be a best seller.

→ This is the book which they say will be a best seller.

- (4) 第1文の The lady と、第2文の she が共通の要素。The lady を先行詞とし、she は「人」で「主格」なので関係代名詞 who となる。

The lady talked to me with a smile. I heard she was hard to please.

→ The lady who I heard was hard to please talked to me with a smile.

be hard to please 「気難しい」 (←「喜ばせにくい」ということ)

### 【2】

#### 解答

- (1) (Her father,) whom you saw yesterday, is a writer.
- (2) He lent me two books, neither of which I've read (as yet) .
- (3) I was deceived by the man who I believed was my best friend.

#### 解説

- (1) whom は関係代名詞の「非制限用法」で、先行詞は his father。  
..., whom you saw yesterday, ... = ..., though you saw him yesterday, ...

- (2) which は関係代名詞の「非制限用法」で、先行詞は two books。  
..., neither of which I've read as yet. = ..., but I've read neither of them as yet.  
neither 「(2者のうちの) どちらも～ない」

- (3) I was deceived by the man. I believed he was my best friend.

→ I was deceived by the man who I believed was my best friend.  
主格の関係代名詞 who は省略可能。deceive ～は「～をだます」の意。

### 【3】

#### 解答

- (1) 彼らには子供が3人いて、その子たちは教師になった。
- (2) 私の祖母は、私がよく一緒に買い物に行くのだが、90歳を越えている。
- (3) 私は彼の家を訪れ、そこで彼の兄に会った。
- (4) 私は昨日彼に会い、その時に彼は私に助言してくれた。
- (5) あなたは私がこれまでに会った人の中で、私の心を和らげることのできる唯一の人だ。
- (6) あなたがほしいと思うもので、あなたが持っていないものが何かありますか。

#### 解説

- (1) 先行詞は three children である。  
They had three children, who became teachers.  
= They had three children, and they became teachers.
- (2) 先行詞は my grandmother である。  
My grandmother, with whom I often go shopping, is over ninety.  
= My grandmother, though I often go shopping with her, is over ninety.
- (3) 先行詞は his house である。  
I visited his house, where I met his brother.  
= I visited his house, and I met his brother there.
- (4) 先行詞は yesterday である。  
I met him yesterday, when he gave me some advice.  
= I met him yesterday, and he gave me some advice then.
- (5) You are the only person that I have met who can set my mind at ease.  
関係詞の二重限定。1つ目の that が省略されている。set O C「OをCの状態におく〔設定する〕」, mind 「心；精神」, at ease 「気楽に；くつろいで」
- (6) Is there anything that you want which you don't have? で、関係詞の二重限定。1つ目の関係詞 が省略されている。

### 【4】

#### 解答

- (1) I often see Mr. Okada, whom I work with.  
**別解** I often see Mr. Okada, with whom I work.
- (2) Manabu sent me an e-mail, which I didn't read.
- (3) I went to a museum in Paris, where I met my French teacher.
- (4) His father died in 1975, when he was only five (years old) .
- (5) He has two daughters, one of whom is a high school student.
- (6) He studied hard, which enabled him to pass the entrance examination.

**解説**

- (1) whom は関係代名詞の「非制限用法」で、先行詞は Mr. Okada。  
 …, whom I work with. = …, for I work with him.
- (2) which は関係代名詞の「非制限用法」で、先行詞は an e-mail。  
 …, which I didn't read. = …, but I didn't read it.
- (3) where は関係副詞の「非制限用法」で、先行詞は a museum。  
 …, where I met my French teacher. = …, and I met my French teacher there.
- (4) when は関係副詞の「非制限用法」で、先行詞は 1975。  
 …, when he was only five. = …, and he was only five then.
- (5) whom は関係代名詞の「非制限用法」で、先行詞は two daughters。  
 …, one of whom is a high school student. = …, and one of them is a high school student.
- (6) which は関係代名詞の「非制限用法」で、先行詞は主節全体の He studied hard。  
 …, which enabled him to pass the entrance exam. = …, and that enabled him to pass the entrance examination. である。enable O to … 「Oが…するのを可能にする」

**【5】****解答**

- (1) より速いものを求める人類の願望は結局、音速にほぼ近い速さで移動するジェット機を生み出すことになった。そしてスペースシャトルというものがあつたが、それはジェット機の 30 倍の速度を持ち、地球を 1 時間半で回ることができたのである。
- (2) 木を伐採することは「地球温暖化」と呼ばれる現象の加速を促し、その現象は気温を上げ、地球全体の海面上昇を引き起こすのである。

**解説****(1)**

- ℓ. 1 ◇ Man's desire for something faster eventually gave birth to ~  
 ○ desire 「欲望」  
 ○ eventually 「結局」  
 ◇ jet airliners that travel at nearly the speed of sound 「音速にほぼ近い速さで移動するジェット機」  
 ○ airliner 「旅客機」  
 ○ that は関係代名詞  
 ○ at the speed of ~ 「～の速度で」
- ℓ. 2 ◇ …, which had a speed 30 times that of a jet and could circle the earth in an hour and a half  
 = …, and it had a speed 30 times that of a jet and could circle the earth in an hour and a half  
 ○ a speed 30 times that of a jet 「ジェット機の 30 倍の速度」  
 ○ circle ~ 「～を周回する」

○ in an hour and a half 「1 時間半で」 in + 所要〔経過〕時間の形である。

(2)

ℓ. 1 ◇ a phenomenon called "global warming"

○ global warming 「地球温暖化」

○ 「『地球温暖化』と呼ばれる現象」 過去分詞 + 付属語句が形容詞句として、名詞を修飾している。(分詞の形容詞用法)

◇ …, which increases temperatures and causes higher levels of water in the earth's oceans.

= …, and it increases temperatures and causes higher levels of water in the earth's oceans.

○ increase ～ 「～を増大する」

○ temperature 「温度；気温」

○ cause ～ 「～を引き起こす」

【6】

**解答**

(1) b (2) a

**解説**

(1) which は関係詞の「非制限用法」である。「ケーキは、私が作ったのだが、本当においしかった。」→ケーキをすべて私が作ったことを示唆している。

(2) who は関係詞の「制限用法」である。「その少女はプレゼントをくれたクラスメートたちに感謝した。」＝「その少女はプレゼントをくれたクラスメートたちになら感謝した。」→プレゼントをくれたクラスメート以外にもクラスメートがいることを示唆している。

リスニング演習

**解答**

No.1 C No.2 D No.3 B No.4 B

**Script**

CD 12

No.1

Shinya : Why didn't you come to the party last night?

Lita : I caught a cold and stayed in bed all afternoon.

Shinya : That's too bad. You should go to see [チャイム].

No.2

Shinya : It's too cool in this classroom.

Lita : Yes, it is.

Shinya : Can I turn off the air conditioner?

Lita : [チャイム]

**No.3**

Shinya : This is a present for you.

Lita : Thank you so much. What is it?

Shinya : It's a kind of book. You use it when you want to know the meanings of Japanese words.

Lita : Oh, it's a Japanese [チャイム].

**No.4**

Shinya : How do you like Akita?

Lita : I like it very much.

Shinya : When did you come to Akita?

Lita : Four days ago.

Shinya : Hmm, it's Saturday today, so you came here on [チャイム]

**全訳**

**No.1**

シンヤ：昨日の晩なぜパーティーに来なかったの。

リタ：風邪を引いて午後中寝ていたの。

シンヤ：かわいそうに。[ ] に行った方がいいよ。

**No.2**

シンヤ：この教室は涼しすぎるよ。

リタ：そうね。

シンヤ：エアコンを止めてもいいかな。

リタ：[ ]

**No.3**

シンヤ：これ、きみにプレゼント。

リタ：どうもありがとう。何かしら。

シンヤ：本のようなものだよ。日本語の単語の意味を知りたいときに使うんだ。

リタ：わあ、日本語の[ ] ね。

**No.4**

シンヤ：秋田はどう。

リタ：とてもいいわ。

シンヤ：いつ秋田に来たの。

リタ：4日前よ。

シンヤ：えっと、今日が土曜日だからきみがここに来たのは[ ] だね。

**解説**

**No.1** リタは風邪を引いて寝込んでいたのだから、**C**が正解。

**No.2** 「止めてもよいか」という許可を求める発言に対する答えなので、**D**が正解。

**No.3** 語の意味を調べるのに使うのだから、**B**が正解。

**No.4** 土曜日の4日前は火曜日なので、**B**が正解。



## 添削課題

### 【1】

#### 解答

- (1) The house the front door of which is red is my uncle's.
- (2) Do you know the man who [that] is talking to my brother?
- (3) They are repairing the temple which [that] was built two hundred years ago.
- (4) These are the pictures which [that] my cousin took.
- (5) The captain was the last person that left the ship.
- (6) He gave me all the stamps that he had.

#### 解説

- (1) 指示にあるとおり of を用いる。「玄関のドアが赤い家は私の叔父の家だ。」前置詞 + 関係代名詞が形容詞句として、名詞を修飾している。
- (2) 「私の兄に話しかけている人をあなたは知っていますか。」現在分詞 + 付属語句が形容詞句として、名詞を修飾している。(分詞の形容詞用法)
- (3) 「彼らは 200 年前に建てられた寺院を修理しているところだ。」過去分詞 + 付属語句が形容詞句として、名詞を修飾している。(分詞の形容詞用法)
- (4) 「これらは私のいところによって撮られた写真だ。」過去分詞 + 付属語句が形容詞句として、名詞を修飾している。(分詞の形容詞用法) 指示にあるとおり by を用いないので受動態でなく能動態でまとめる。
- (5) 「船長は船を離れた最後の人だった [船を最後に離れた人だった]。』先行詞が特定の 1 つであることを表す修飾語 the last を伴っているので、関係代名詞は that が好まれる。不定詞が形容詞句として、名詞を修飾している。(不定詞の形容詞用法)
- (6) 「彼は私に彼の切手をすべてくれた。」「彼の切手すべて → all his stamps」を「彼が持っているすべての切手 (all the stamps that he had)」と考える。先行詞が「すべて」の意味の修飾語を伴っているため、関係代名詞は that が好まれる。

### 【2】

#### 解答

- (1) ニューヨークは、面白い人たちが多く住んでいて、私のお気に入りの都市だ。
- (2) 彼はタバコをやめ、そのことは彼の家族を喜ばせた [そのことで彼の家族は喜んだ]。
- (3) 私の姉は医者であり、私もそれになりたいと思っている。
- (4) 私たちは 3 人の女の子に会ったが、その内の 2 人は私の姉の友達だった。

#### 解説

- (1) 先行詞は New York である。  
New York, where there are many interesting people, is my favorite city.  
= New York, because there are many interesting people there, is my favorite city.  
favorite は「お気に入りの；好きな」の意。
- (2) 先行詞は主節全体 He gave up smoking である。

He gave up smoking, which pleased his family.

= He gave up smoking, and that pleased his family.

・ give up ...ing 「...する習慣をやめる」, please ~ 「~を喜ばせる」

(3) 先行詞は a doctor である。

My sister is a doctor, which I also want to be.

= My sister is a doctor, and I also want to be one.

(4) 先行詞は three girls である。

We met three girls, two of whom were my sister's friends.

= We met three girls, and two of them were my sister's friends.

### 【3】

#### 解答

仕事とは自分がしたいことをすることである。労働とは自分がしなければならないこと、それも一般的にはしたくないことをすることである。これはどうしても必要な区別であり、特にアメリカのような国ではそうである。しかし、そこでは労働と仕事が混同されているのだ。

#### 解説

ℓ. 1 ◇ what one likes to do = things that one likes to do 「人がしたいこと」

◇ what one has to do = things that one has to do

「人がしなければならないこと」

ℓ. 2 ◇ something that one does not like to do 「人がしたくない何か」

ℓ. 3 ◇ ..., in which labor is confused with work.

= ..., where labor is confused with work.

= ..., but there labor is confused with work.

○ labor 「労働」

○ generally 「一般的に」

○ distinction 「区別」

○ confuse A with B 「AをBと混同する」

### 【4】

#### 解答

(1) Naoko left her bag in the classroom, which was careless of her.

(2) He passed the exam, which pleased his family.

(3) Tom didn't answer my letter, which was rude of him.

(4) The man (who) I thought was you proved to be a stranger.

(5) Can you mention anyone (that) you know who is as diligent as he?

(6) There isn't anything (that) you can tell me about space that I don't know yet.

#### 解説

(1) which は関係代名詞の「非制限用法」で、先行詞は主節全体 Naoko left her bag in the classroom である。

..., which was careless of her. = ..., and that was careless of her.

- (2) which は関係代名詞の「非制限用法」で、先行詞は主節全体 He passed the exam である。please ～「～を喜ばせる」

..., which pleased his family. = ..., and that pleased his family.

- (3) Tom didn't answer my letter, which was rude (of him) .

which は関係代名詞の「非制限用法」で、先行詞は主節全体 Tom didn't answer my letter である。rude 「失礼〔無礼〕な」

..., which was rude of him. = ..., and that was rude of him.

- (4) このように I think などが挿入されている場合、主格の関係詞は省略可能。prove (to be) ～「～であると判明する」

The man proved to be a stranger. I thought he was you.

→ The man who I thought was you proved to be a stranger.

- (5), (6) 関係詞の二重限定では1つ目の関係代名詞を省略することが多い。

## 13 章 時制の一致

---

### 要点

#### ■ 確認問題 1

##### 解答

- (1) I thought that he knew the truth.
- (2) I believed that your answer was correct.

#### ■ 確認問題 2

##### 解答

- (1) I knew that he rode a horse.
- (2) I heard that you had met the singer.
- (3) I hoped you would return before dinner.

#### ■ 確認問題 3

##### 解答

- (1) 光は音よりも速く伝わると習った。
- (2) 彼は私たちにリンカーンは 1806 年にケンタッキー州で生まれたと言った。
- (3) 彼は毎朝 6 時に起きると言った。

## 問題

### 【1】

#### 解答

- (1) would keep
- (2) had been
- (3) could find
- (4) had been brought up
- (5) had been found [were found]

#### 解説

- (1) 「私は彼は秘密を守るだろうと思った。」

主節の動詞 thought に合わせて、助動詞 will を would に変える。

- (2) 「彼女が言った」時点が過去時制で表されており、すでにその時点で「1週間病気で寝ていた」ので、「過去完了」を用いる。

- (3) 「道がわかるように、私は地図をロイにあげた。」

so that 主語 + can [may] ~ の表現。ここでは、主節が過去時制なので、so that 以下の助動詞 can も過去形 could となる。

- (4) 「彼女はニューヨークで育ったと言った。」

She told me … と、過去のある時点で「ニューヨークで育った」ことを言ったので、「育った」ことを表現するには、過去よりも前の時制を示す「過去完了」を用いる。

- (5) 「彼の部屋で発見された多数のビンは彼らに持ち去られた。」

発見された時点と運び去られた時点と同じと考えれば、were found。

### 【2】

#### 解答

- (1) We learned hydrogen is lighter than air.
- (2) Bob said he drinks tomato juice every morning.
- (3) I asked him how long he had lived in Japan.
- (4) I heard that Jim had lost his money.

#### 解説

- (1) 「不変の真理」なので、主節が過去時制でも従属節は現在時制。

- (2) 「現在も変わらない習慣」を表している。主節が過去時制でも従属節は現在時制。

- (3) 主節が過去時制になるので、時制の一致を受け、「住んでいる」は had lived ~ にする。

- (4) 主節が過去時制なので「お金をなくしてしまった」は時制の一致を受け、had lost ~ にする。

### 【3】

#### 解答

- (1) no one would believe her
- (2) would resign the following [next] day
- (3) would change his life

#### 解説

- (1) 主節の動詞が thought と過去形になっているので、従属節の中は will の過去形である would を用いる。
- (2) ポイントは「翌日」の表現の仕方です。ここでは tomorrow ではなく、the following [next] day を用いる。
- (3) 時制の一致は、目的語になっている that 節中でのみ起こるわけではない。本問のように、関係代名詞節となっている that 節の中でも見られる。something that would change his life に対して与えられた日本語は「人生を変えてくれるもの」だが、ここを逐語訳すれば、「人生を変えてくれるだろう何か」となる。

### 【4】

#### 解答

- (1) She believed that he was an honest boy.  
「彼女は彼を誠実な少年だと思っていた。」
- (2) We knew that he could swim well.  
「私たちは、彼が泳ぐのが上手だと知っていた。」
- (3) He said he had met her at the station.  
「彼は彼女に駅で会ったと言った。」
- (4) It seemed that the next bus wouldn't come till six forty.  
「次のバスは、6時40分まで来ないかのように見えた。」
- (5) It seemed that she had never heard such a beautiful song before.  
「彼女はそんなに美しい曲を今までに聞いたことがなかったようだった。」
- (6) Americans believed that everyone should be treated equally.  
「アメリカ人は誰もが平等に扱われるべきだと信じていた。」

#### 解説

- (1) 時制の一致を受け、従属節を過去形にする。honest boy の冠詞は a ではなく an になることに注意。
- (2) 時制の一致を受け、助動詞 can は could に変わる。
- (3) 時制の一致を受け、過去形 met は過去完了形 had met になる。
- (4) 時制の一致を受け、助動詞 will は would に変わる。(won't = will not)
- (5) 主節の動詞を過去形にしたので、従属節の現在完了を過去完了にする。
- (6) that 節中の should は「～するべきだ」の意でこの意味で用いられる。should は時制の一致の影響を受けない。

## 【5】

### 解答

- (1) how delicious Thai food is
- (2) Heather
- (3) ③ c      ④ b      ⑤ b      ⑥ c
- (4) 「全訳」の下線部参照。

### 解説

- (1) how + 形容詞 + 主語 + 動詞という語順になることに注意。
- (2) perspective は「見方；考え方」の意で、片方の見方がタイ人のソムサックのものであるので、もう1つはアメリカ人のヘザーの見方である。
- (3)
  - ③ for several years とあるので、現在完了進行形の「動作の継続」であることがわかる。
  - ④ 時制の一致で will は would になる。
  - ⑤ 時制の一致で be は was になる。
  - ⑥ ページ氏は「～してくれた」ということを「信じていた」ということなので、名詞節である従属節の時制は had given にするのが正しい。「学部長が授業を休む許可を与えてくれたとページ氏は信じていた」となる。
- (4) bring oneself to ～は、「…を～する気にさせる」の意。miss the classes は「授業を休講にする」の意。suggest の目的語の that 節はやや長いですが、if Mr. Page missed the classes 「ページ氏が授業を休むなら」の部分を除けば、he should not tell anyone, keeping it between himself and the students 「誰にも言わないで、彼自身と生徒の間だけの話に留めておいてくれ」となる。

### 全訳

ソムサックはタイ出身で、ミネソタ大学で勉強している。彼は大学で同期の学生の中に友達を何人か作った。そして、ある週末、街にできたある新しいタイ料理のレストランで一緒に夕食を食べようと、同級生のヘザーを招待する。彼はタイ料理がどれほど美味しいかを彼女によく話していた。それで彼女も彼と一緒にぜひ食事をしたいと思っている。ただ、彼女には1つの心配事がある。それはタイ料理が自分にとって辛すぎないかということだ。注文をしているとき、彼女はソムサックに注文を任せると言う。彼はある料理を注文し、彼女にこれはとてもおいしいと話す。彼女はそれが辛くないかとたずねるが、彼は「いや、全然辛くないよ。」と言う。

ヘザーはほっとする。料理が運ばれ、彼女が一口それを口にすると、彼女の目はまん丸に開いて、そして涙が流れ始める。彼女は水の入ったグラスをつかんで、それを一気に飲み干す。彼女はもう2度とタイ料理を食べないと誓う。

この出来事についての問題は、情報源および受け手の両方の側にある。情報源はソムサックである。彼の見方では、問題の料理はまったく辛すぎることではない。しかし、マッシュポテトに少々のコショウをかけた程度のもより、辛いものに慣れていなかったヘザーの側か

らすると、その日の料理はあまりにも辛くて食べられなかったのだ。つまり、情報源と受け手が同じメッセージを受け取っているのに、それぞれの文化的背景によって、異なった解釈をしたわけである。

最後の例を紹介しよう。ページ氏はこの数年間、日本で教えている。彼はある研究会に出席したかったが、このために4週間にわたり授業を休まないとならなかった。彼は自分の学部長のところへ行き、状況を説明した。学部長は、「もしあなたが、それが十分に重要なことだと思うのなら、非公式ではあるけれども、あなたは授業を休んでもよいでしょう。」と言った。ページ氏は、研究会は重要だと思ったが、学生のことも心配だったので、生徒用の補充教材を用意して、それを彼が不在のときに配布するようにと、学部の秘書のところまで持って行った。部長はこれについて知ったとき、とても慌てた。何がいけなかったのか。

学部長が授業を休む許可を与えてくれたとページ氏は信じていた。だから、彼の次の心配事はどうすれば学生の面倒がみられるかということだった。学部長はそんなことをまったく思っていなかった。彼はページ氏に、授業を休まないでくれと直接言う気にならなかったのも、もしページ氏が授業を休みにするのであれば、それを誰にも言わずに、彼と生徒の間での秘密にしておくようにと言ったのだ。彼らのそれぞれの文化的背景が、お互いを誤解させてしまったのである。

## リスニング演習

### I

#### 解答

No.1 B No.2 A No.3 D

#### Script

### CD 13

#### No.1

Mother : I hear Mr. White is sick.

Daniel : Oh, he is well now. He started teaching his math class last Friday.

Mother : That's good.

Question: What is Mr. White's job?

#### No.2

Mother : Oh, you are here. What time did you arrive?

Daniel : At two o'clock. How about you, Mom?

Mother : I got here at two fifteen.

Question: Who came first?

#### No.3

Mother : Daniel, it's time to go to school.

Daniel : I'm ready, Mom.

Mother : Michael is waiting outside.

Daniel : Thanks. I'm coming down now!

Question: Where is Daniel now?



**全訳****No.1**

母親 : ホワイトさんの具合が悪いんですって。

ダニエル: ああ, もう今はいいいみただよ。先週の金曜から数学の授業を始めたよ。

母親 : それはよかったわ。

質問 : ホワイトさんは何をしている人ですか。

**No.2**

母親 : まあ, ここにいたのね。何時に着いたの。

ダニエル: 2時だよ。母さんは。

母親 : 2時 15 分に来たわ。

質問 : だれが最初に来ましたか。

**No.3**

母親 : ダニエル, 学校に行く時間よ。

ダニエル: 用意はできているよ, 母さん。

母親 : マイケルが表で待っているわよ。

ダニエル: ありがとう。今下りていくよ。

質問 : ダニエルは今どこにいますか。

**解説**

**No.1** 数学の授業をするのだから, **B**が正解。

**No.2** ダニエルが「2時」, 母親が「2時 15 分」に来たので, **A**が正解。

**No.3** 学校に行く前の2人の会話。外で待っているのはマイケル。ダニエルは家の上の階にいる。正解は**D**。

**2****解答**

**No.1 B    No.2 D    No.3 C    No.4 A    No.5 D**

**Script****CD 14****No.1**

Kaede: Will you tell me what time it is now?

Mark : Sure. It's three thirty.

Kaede: Thank you.

Mark : [チャイム]

**No.2**

Kaede: Do you have a science class on Mondays?

Mark : Yes, I do.

Kaede: How many science classes do you have in a week?

Mark: [チャイム]

### No.3

Kaede: Will you go jogging today?

Mark : No. The weather is too bad.

Kaede: Then what will you do?

Mark : [チャイム]

### No.4

Kaede : I'll have coffee. Will you have coffee, too?

Mark : No.

Kaede : What would you like?

Mark : [チャイム]

### No.5

Kaede : Are you from the United States?

Mark : No, I'm not.

Kaede : Then where are you from?

Mark : [チャイム]

### 全訳

### No.1

カエデ：今何時か教えてくれる。

マーク：もちろん。3時半だよ。

カエデ：ありがとう。

マーク：[ ]

### No.2

カエデ：月曜日は理科の授業があるの。

マーク：うん。

カエデ：週に何時間理科の授業があるの。

マーク：[ ]

### No.3

カエデ：今日はジョギングに行くの。

マーク：いや。天気が悪すぎる。

カエデ：じゃあ、何をするの。

マーク：[ ]

### No.4

カエデ：コーヒーを飲むわ。あなたもコーヒー飲む？

マーク：ううん。

カエデ：何がいい。

マーク：[ ]

### No.5

カエデ：あなたはアメリカ出身なの。

マーク：いや、違うよ。

カエデ　：じゃあ，どこの出身なの。

マーク　：〔　　　〕

**解説**

**No.1** お礼を言われたのだから，「どういたしまして。」という意味の**B**が正解。

**No.2** 「いくつ」と数を聞かれているので，**D**が正解。

**No.3** 「天気が悪くてジョギングはしない。」，「では何をするのか。」という流れに合うのは，**C**。

**No.4** 「コーヒーは飲まない。」，「では何を飲むのか。」という流れに合うのは，**A**。

**No.5** 「あなた（＝マーク）が」，「アメリカ以外のどこから来たか」がポイント。正解は**D**。

## 添削課題

### 【1】

#### 解答・解説

- (1) would ; win

「信じていた」時点では、「勝つ」のは未来の出来事なので、will の過去形である would を用いる。

- (2) had ; just ; come

「日本から帰ってきたばかりだ」では、現在完了を使うことが予想できる。ただし、ここでは heard という過去形の動詞の目的語となる that 節中にあるので、had just come と過去完了形にする。

- (3) were ; going ; to

「死ぬだろう」は、「近接未来」を表す be going to …を用いる。ただし、主節の動詞は thought と過去形になっているので、were going to …としなければならない。

- (4) had ; lived

「老婦人だった」と述べている時点で、すでに彼女はずっと同じ村で暮らしているので、それを表すために had lived と過去完了形の「継続」を使う。

- (5) would ; like ; to

仮定法は時制の一致の適用を受けないという原則があるが、この would like to …も変える必要はない。

### 【2】

#### 解答・解説

- (1) 彼女は3年前に富士山に登ったという友人がいる。  
(2) 私はあまりに疲れていて映画を見続けることができずに寝てしまった。  
(3) 彼は息子が毎週土曜日にその公園に1人で行っていることに気づかなかった。  
(4) 先生は「鉄は熱いうちに打て」と私に言った。

Strike while the iron is hot. はことわざで、鉄を有用な形にするには、熱して柔らかいうちに打つことが必須だという意味から、人は若いうちに教育を施すべきだという例え。または「手遅れにならないうちに処置をすべきだ」という意味もある。

### 【3】

#### 解答

- (1) My father told me that honesty is the best policy.  
(2) It seemed that the game was over.  
(3) The scientist said that the two-thirds of the earth is covered with water.  
(4) I expected that he would reply to my e-mail the next [following] day.

**解説**

- (1) honesty is the best policy はことわざであるので、時制の一致の適用を受けない。
- (2) 主節の動詞 seemed に合わせて、動詞を過去形 was に変える。
- (3) いわゆる「不変の真理」なので、動詞は現在形のままでよい。
- (4) 「期待した」時点では、彼が返事をよこすのは未来のことなので、will の過去形である would を用いる。注意しないとイケないのは、「翌日」に tomorrow は使えないことである。tomorrow はあくまで「現在」を中心とした表現なので、「過去」に基準を置いた場合は、the following day もしくは the next day などを用いる。





3EJS/3EJ  
中3英語  
中3東大英語



会員番号	
------	--

氏 名	
-----	--